

令和2年度 第3回 半田市地域福祉計画推進及び策定委員会 の開催中止と資料確認について

令和3年2月9日（火）に開催を予定していました標題の会議につきましては、新型コロナウイルス感染症予防の一環として開催を中止させていただくこととなりました。このことに伴い、当日説明予定であった下記案件について、別添のとおり資料を配付しますのでご確認をお願いします。つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、下記案件に係る各委員のご意見等を2月19日（金）までに（別紙）意見提出書によりご提出くださいますようお願いいたします（FAX、メール等）。

議 題

1. （第2次計画）パブリックコメントの意見と回答について . . . 資料1
2. 令和3年度ふくし課題プロジェクトについて . . . 資料2

報 告

3. 令和3年度事業予定について . . . 資料3
4. 重層的支援体制整備事業について . . . 資料4
5. 令和2年度ふくし課題プロジェクト（試行）について（経過報告）
. . . 資料5

<令和3年度の委員会開催日程（予定）>

- | | | |
|-----|--------------------|------------------|
| 第1回 | 日時：令和3年6月3日（木）10時～ | 会場：市役所会議室301・302 |
| | 内容：前年度事業報告ほか | |
| 第2回 | 日時：令和4年2月3日（木）10時～ | 会場：市役所大会議室 |
| | 内容：次年度事業予定ほか | |

委員名簿

		氏 名	所 属
1	地域住民	ミシグチ アキヒロ 溝口 昭弘	地区代表者(亀崎)
2	(3名)	オグリ テルオ 小栗 照夫	地区代表者(乙川)
3		ヤマダ タカシ 山田 嵩	地区代表者(青山)
4	社会福祉事業者	モリカワ タケヒコ 森川 武彦	社会福祉法人椎の木福祉会
5	(3名)	タテイシ ヨシキ 立石 佳輝	社会福祉法人ダブルエッチジェー
6	(委員長)	ワシノ リンペイ 鷺野 林平	社会福祉法人半田同胞園
7	社会福祉活動者	イマイ トモノ 今井 友乃	NPO法人知多地域成年後見センター
8	(3名)	シモムラ ヒロコ 下村 裕子	NPO法人りんりん(りんごクラブ)
9		シバタ マサト 柴田 将人	愛知県弁護士会(半田市生活困窮自立支援調整会議)
10	事務局(市)	シムラ タカシ 新村 隆	福祉部長
11	(4名)	スギエ シンジ 杉江 慎二	地域福祉課長
12		ナイノウ マコト 内藤 誠	地域福祉課
13		タケノコシ ナツキ 竹之越 夏姫	地域福祉課
14	関係課(市)	マセ ナオト 間瀬 直人	生活援護課長
15	(4名)	サワダ ヨシユキ 沢田 義行	高齢介護課長
16		イトウ ナミ 伊藤 奈美	子育て支援課長
17		ヌマタ マサアキ 沼田 昌明	保健センター事務長
18	事務局(社協)	コサカ カズマサ 小坂 和正	半田市社会福祉協議会 事務局長
19	(3名)	マエヤマ ケンイチ 前山 憲一	半田市社会福祉協議会 事務局次長
20		ナカネ ヤスユキ 中根 靖幸	半田市社会福祉協議会

第 2 次半田市地域福祉計画（案）について提出された 意見等の概要及び市の考え方

令和 2 年 1 2 月 2 日～翌 1 月 4 日に市内公共施設及び市ホームページによりパブリックコメントを実施し、計 4 件の意見等の提出がありました。意見等の概要と市の考え方（案）を以下のとおりまとめましたので、委員として同意又は不同意の意向をご回答ください。

番号	提出された意見等の概要	市の考え方
1	<u>地方再犯防止推進計画を第 2 次地域福祉計画に取り込んでいただけないか。法律で制定に努めなければならぬとされており地域福祉計画に取り入れていただきたい。</u>	市としても再犯防止推進の重要性は認識していますが、 <u>本計画は福祉に係る分野別計画の上位に位置付けられた計画のため、個々の分野別計画と併せて策定することは考えておりません。</u> 今後、再犯防止の更なる推進について関係部署と協議してまいります。
2	「基本目標 2 包括的・重層的・伴走的な相談支援」(P. 22)について、 <u>包括的・重層的・伴走的の説明を用語解説 (P. 39) で示しているが、今回の地域福祉計画において重要な概念であると思われるので、本文中で触れるべきではないか。</u>	「 <u>包括的・重層的・伴走的な相談支援</u> 」に係る具体的な取組は本文第 5 章に記載しています。なお、「 <u>重層的</u> 」な支援については、令和 2 年の改正社会福祉法により創設された <u>全く新しいものであるため、その制度説明を「コラム」記事として本文 (P. 23) に追加することとします。</u>
3	これからのふくしに向けて、「基本目標 4 課題解決の仕組みづくり」(P. 22) だけではなく、 <u>新しい価値を創造していくことを示していくのはどうか。</u>	本計画では、「第 1 章 第 1 節 計画策定の趣旨」(P. 2) に記載のとおり、「 <u>社会情勢の変化を的確に捉え、新たな課題にも果敢に挑戦していく</u> 」ことを目指しており、 <u>計画の推進を通じて新しい価値の創造にも貢献してまいりたいと考えています。</u>
4	「第 6 章 計画の推進にあたって」(P. 36) では、 <u>推進委員会やコア会議以外に、幅広く多くの人に関わっていくような推進の仕組みが必要ではないか。</u>	推進委員会は計画の進行管理や評価を行う機関として、また、コア会議は施策に関する情報共有や意見交換等を行う機関として位置付けていますが、計画の推進にあたっては、従来から <u>地域住民・福祉事業者・福祉活動団体など幅広く多くの方々と協力しながら取り組んでおり、これからも同様に進めてまいります。</u>

第1節 基本目標

市民アンケートによる意識調査や「ふくし井戸端会議」などによる地域課題抽出のための聞き取り調査等を行ったところ、「地域のつながり」に関することや、「困りごとの相談」に関すること、「地域活動の担い手」に関すること、その他様々なことが本市の地域福祉推進に係る課題として浮かび上がってきました。

そこで、本計画の基本目標を次のとおり定めるとし、これらの目標に向けて各種施策を推進していくこととします。

基本目標1 ささえあいの地域づくり

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、地域の福祉活動基盤の運営継続と発展を支援し、ささえあいの地域づくりを目指します。

基本目標2 包括的・重層的・伴走的な相談支援

あらゆる福祉分野の相談支援の充実を図るとともに、相談支援機関の連携を深め、複雑・多様な課題や不安を抱える方を早期に発見、包括的・重層的・伴走的[※]に支援する体制の整備を目指します。

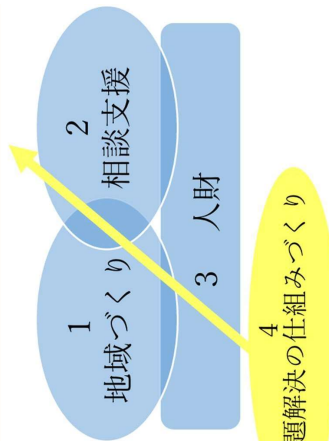
基本目標3 ふくし人財の確保・育成

地域のささえあいかから社会福祉事業まで、全ての福祉活動は人の力により成り立っており、その意味で福祉活動従事者は大切な「資産」と言うことができます。広く福祉活動従事者を「ふくし人財[※]」として捉え、その確保・育成を目指します。

基本目標4 課題解決の仕組みづくり

社会情勢の変化等により生じる新たな課題等について、関係機関と連携・協力して解決の仕組みづくりを目指します。

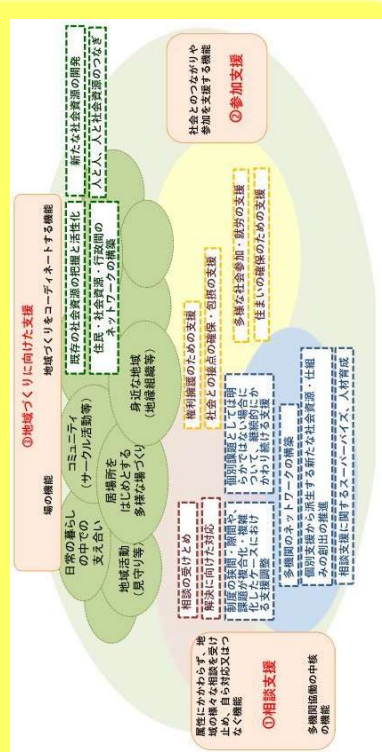
〔基本目標の概念図〕



「(基本目標1) ささえあいの地域づくり」と「(基本目標2) 包括的・重層的・伴走的な相談支援」を推進するとともに、地域福祉を担う「(基本目標3) ふくし人財の確保・育成」に努めます。
また、これらを進めるにあたり生じる課題について「(基本目標4) 課題解決の仕組みづくり」に取り組めます。

コラム② 重層的に支援する!

令和2年6月に改正社会福祉法が可決・成立し、法制度として重層的支援体制整備事業が創設されることとなりました(令和3年4月施行)。
これは、地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応するため、①相談支援、②(社会とのつながり等を支援する)参加支援、③地域づくりに向けた支援、これら3つの支援を市町村が一体的に取り組んでいくというものです。
半田市においても、この新たな取組を進めていくため、今後さらなる支援体制の充実を図ることを念頭に本計画を策定していきます(個々の取組は第5章をお読みください)。



意見等2への回答として新たに追加するコラム

令和3年度ふくし課題プロジェクトについて

第2次半田市地域福祉計画の基本目標4(1)①「ふくし課題プロジェクト」について、地域福祉計画推進コア会議（市の関係部署の担当者及び社協職員により情報共有・意見交換等を行うもの）により、令和3年度の実施案件（2件）を以下のとおり選定しました。つきましては、委員として同意又は不同意の意向をご回答ください。

令和3年度実施案件

(1) 災害時避難行動要支援者個別計画の作成（モデル実施）

（要支援者に係る具体的支援者、避難場所・経路、留意点等をあらかじめ定める個別計画のモデル作成について検討する。）

(2) 居住支援ガイドブック作成と見守り大家さん拡充

（住宅確保要配慮者に係るガイドブックの作成と居住支援を行う大家さんの育成等について検討する。）

※期間は令和3年4月1日～翌3月31日（1年間）とし、プロジェクト・メンバーは実施案件決定後にそれぞれ選定します。

参考1

<コア会議メンバー（14名）の意見集約結果>

- ①にじいろサポーターと活躍の場マッチング・システム 0件
- ②法人との協働による地域福祉活動（人財育成） 3件
- ③居住支援ガイドブック作成と見守り大家さん拡充 4件
- ④災害時避難行動要支援者個別計画の作成（モデル実施） 5件
- ⑤生活困窮者の地域サロン等活動体験（疑似就労）拡大 1件
- ⑥相談支援機関の連携強化の仕組みづくり 1件

参考2

＜ふくし課題プロジェクト（第2次計画の4・(1)・①）＞

社会情勢の変化等により生じる新たな課題や従来から課題と認識していながら未だ有効な対応策が確立できていないものについて、市民・行政・社協・関係機関等からメンバーを選定してプロジェクトチームを結成し、検討会議を重ねて課題解決の仕組みづくりを行うもの。

- ①プロジェクトは、福祉的な課題等に係る関係者間の協議調整の様々な枠組み（フレーム）の一つ。
- ②プロジェクトに位置付ける案件は、原則として地域福祉課が事務局機能を担い検討会議を開催し、検討結果を地域福祉計画推進委員会へ報告する。
- ③プロジェクトでの検討は、基本的に課題解決の仕組みづくりまでとする。
- ④プロジェクト案件1件に係る検討期間は基本的に1か年度以内とする。

令和3年度事業予定について

第2次半田市地域福祉計画に係る令和3年度の事業予定について、以下のとおり報告します。

第2次半田市地域福祉計画の基本目標

基本目標1 ささえあいの地域づくり

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、地域の福祉活動基盤の運営継続と発展を支援し、ささえあいの地域づくりを目指します。

基本目標2 包括的・重層的・伴走的な相談支援

あらゆる福祉分野の相談支援の充実を図るとともに、相談支援機関の連携を深め、複雑・多様な課題や不安を抱える方を早期に発見、包括的・重層的・伴走的に支援する体制の整備を目指します。

基本目標3 ふくし人財の確保・育成

地域のささえあいから社会福祉事業まで、全ての福祉活動は人の力により成り立っており、その意味で福祉活動従事者は大切な「資産」と言うことができます。広く福祉活動従事者を「ふくし人財」として捉え、その確保・育成を目指します。

基本目標4 課題解決の仕組みづくり

社会情勢の変化等により生じる新たな課題等について、関係機関と連携・協力して解決の仕組みづくりを目指します。

基本目標 1		ささえあいの地域づくり			
評価指標	項目	元年度	2年度見込	3年度見込	
		「ふくし井戸端会議」参加者数	565人	※	600人
		「災害時避難行動要支援者名簿」を活用した防災訓練実施件数	2件	0件	3件
推進施策と主な取組	<p><u>推進施策(1) 地域福祉活動基盤の発展推進</u></p> <p>■主な取組■</p> <p>①地域福祉課題の共有と解決に向けた協議の場づくり</p> <p>②地域の住民交流拠点・助け合い活動の発展推進</p> <p>③民生・児童委員、保護司等の活動推進</p> <p><u>推進施策(2) 防災・減災の推進</u></p> <p>■主な取組■</p> <p>①災害時避難行動要支援者支援制度の充実</p> <p>②福祉避難所等の整備推進</p>				
	現状と課題(主なもの)	<p><u>推進施策(1) について</u></p> <p>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、地域課題について協議等する「ふくし井戸端会議」の開催や、地域の交流拠点である「地域ふれあい施設」・「地域サロン」の活動等が制限されることとなりました。感染症予防に努めながら、地域福祉活動を進めていく必要があります。</p> <p><u>推進施策(2) について</u></p> <p>・令和2年度は、自治区等の防災訓練が新型コロナウイルス感染症予防のため規模縮小又は中止となるところが多く、災害時避難行動要支援者名簿を活用した訓練は実施されませんでした。</p> <p>・介助等を要する高齢者や障がい者の災害時避難先となる「福祉避難所」について、福祉事業所との協定締結を進めてきましたが、その開設・運用方法等のさらなる具体化を目指し、「ふくしプロジェクト」を立ち上げて協議検討を進めています(資料5参照)。</p>			
R3年度の予定(主なもの)	<p><u>推進施策(1) について</u></p> <p>・「ふくし井戸端会議」については、市や社協の職員が福祉事業所やサロン等に出向き、感染症予防に努めながら利用・参加者と少人数で話し合いを重ねるなど、多様な形態を取り入れて開催します。</p> <p><u>推進施策(2) について</u></p> <p>・災害時避難行動要支援者名簿を活用した防災訓練の実施について、自治区等への働き掛けを進めます。</p>				

※感染症予防のために開催・実施が制限され、現時点で見込数値を算定できない状況です。

基本目標2 包括的・重層的・伴走的な相談支援				
評価指標	項目	元年度	2年度見込	3年度見込
	「にじいろサポーター養成講座」受講者数（延べ人数）	288人	※	330人
	「くらし相談室」自立支援件数	238件	716件	488件
推進施策と主な取組	<p><u>推進施策（1）</u> ふくし相談窓口等の拡充</p> <p>■主な取組■</p> <p>①地域の身近な「ふくし相談窓口」等の拡充</p> <p><u>推進施策（2）</u> 相談支援機関の連携強化等</p> <p>■主な取組■</p> <p>①相談支援機関の連携強化</p> <p>②就労・住まい・移動等に関する支援の充実</p> <p><u>推進施策（3）</u> 生活困窮者等自立支援の充実</p> <p>■主な取組■</p> <p>①自立相談支援等の充実</p> <p>②自殺・ひきこもり・虐待・累犯・支援拒否等困難ケースの対応充実</p>			
	現状と課題（主なもの）	<p><u>推進施策（1）</u> について</p> <p>・社協が中心となり、市内福祉事業所等の連携体制を構築し、事業所等による「ふくし相談窓口」の設置を進めています。</p> <p><u>推進施策（2）</u> について</p> <p>・令和2年度の社会福祉法の改正により創設される「重層的支援体制整備事業（相談支援・参加支援・地域づくり支援を一体的に行うもの）」（資料4参照）の実施に向けて取り組んでいます。</p> <p><u>推進施策（3）</u> について</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、減収や離職等に関する相談が増加し、自立支援件数が急増しています。</p>		
R3年度の予定（主なもの）	<p><u>推進施策（1）</u> について</p> <p>・引き続き、「にじいろサポーター」の養成や、市内福祉事業所等による「ふくし相談窓口」の設置拡充を進めます。</p> <p><u>推進施策（2）</u> について</p> <p>・重層的支援体制整備事業の実施に向け、相談支援機関の連携体制整備や複雑・多様な課題を抱える方へのアウトリーチ支援などを行います。</p> <p><u>推進施策（3）</u> について</p> <p>・引き続き生活困窮者等自立支援の充実に努めます。</p>			

※感染症予防のために開催・実施が制限され、現時点で見込数値を算定できない状況です。

基本目標3 ふくし人財の確保・育成				
評価指標	項目	元年度	2年度見込	3年度見込
		小・中・高等(専門)学校(全26校)における「ふくし共育」開催校数	17校	14校
推進施策と主な取組	<p><u>推進施策(1) 地域福祉の担い手育成</u></p> <p>■主な取組■</p> <p>①ふくし理解の促進</p> <p>②地域福祉の担い手育成</p> <p><u>推進施策(2) 介護人材等の確保支援</u></p> <p>■主な取組■</p> <p>①介護人材等の確保支援</p>			
現状と課題(主なもの)	<p><u>推進施策(1) について</u></p> <p>・社協が中心となり、多くの小・中・高等学校で「ふくし共育」として、認知症キッズサポーター養成講座や、高齢者・障がい者との交流を実施しています。</p> <p><u>推進施策(2) について</u></p> <p>・市・社協・市内福祉事業所との協働による、学生向けの福祉事業所紹介イベント「ウェルフェアワークス」については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができませんでしたが、学生に対する広報活動や福祉事業所でのインターン受入の仕組みづくりなどが進められました。</p>			
R3年度の予定(主なもの)	<p><u>推進施策(1) について</u></p> <p>・引き続き、感染症予防に努めながら、「ふくし共育」を実施するとともに、地域福祉の担い手育成として各種サポーター養成講座の開催に取り組みます。</p> <p><u>推進施策(2) について</u></p> <p>・「ウェルフェアワークス」として学生向けの福祉事業所紹介イベントの開催や福祉事業所でのインターン受入などに取り組みます。</p>			

基本目標4 課題解決の仕組みづくり				
評価指標	項目	元年度	2年度見込	3年度見込
		ふくし課題プロジェクト実施 件数	—	1
推進施策と主な取組	<p><u>推進施策(1) 課題解決の仕組みづくり</u></p> <p>■主な取組■</p> <p>①ふくし課題プロジェクト</p>			
現状と課題 (主なもの)	<p><u>推進施策(1)</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、令和3年度以降の「ふくし課題プロジェクト」の本格運用に向けて、試行的に「福祉避難所のさらなる具体化」をテーマに関係機関等と協議・検討を進めています(資料5参照)。 			
R3年度の予定 (主なもの)	<p><u>推進施策(1)</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の関係部署の担当者と社協職員による「地域福祉計画推進コア会議」により取組案件候補を選定した上で、地域福祉計画推進委員会に諮り、令和3年度取組案件を決定します(資料2参照)。 取組案件の内容に応じてプロジェクトメンバーを選定し、検討会議を重ねて課題解決の仕組みづくりを進めます。 			

重層的支援体制整備事業について

令和2年度の社会福祉法の改正により「重層的支援体制整備事業」が創設され、半田市においてもこの事業の実施に向けて取り組んでいくこととしています。

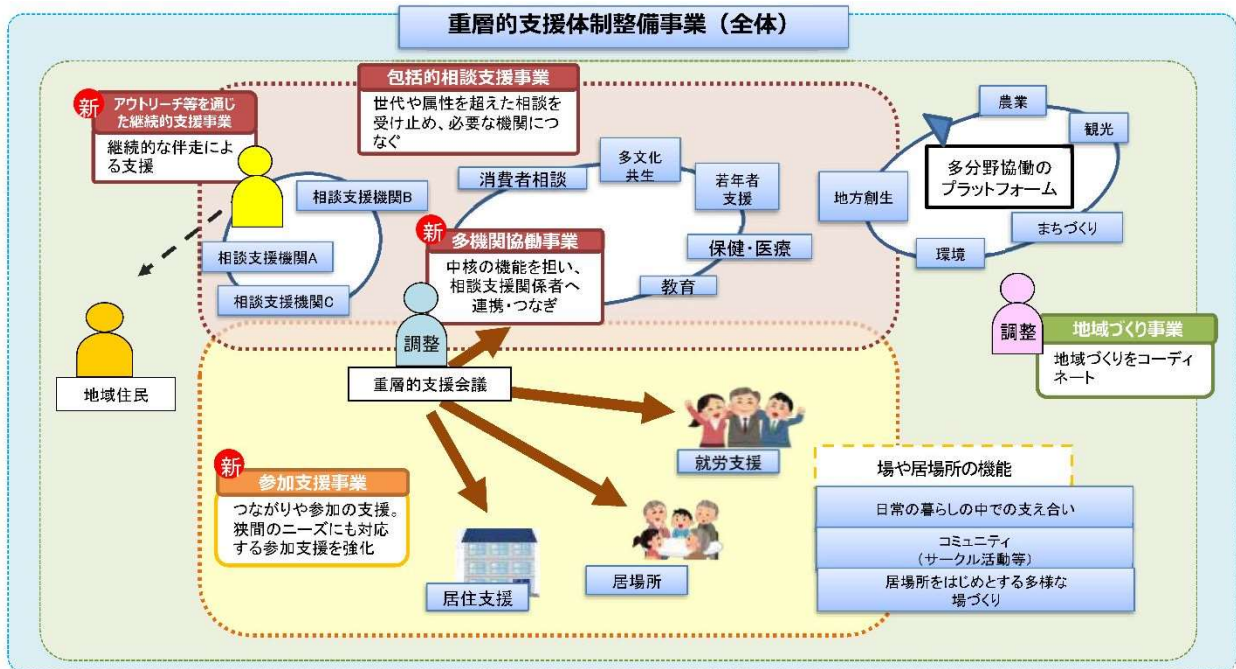
重層的支援体制整備事業の概要については、以下のとおりです。なお、第2次半田市地域福祉計画の基本目標2「包括的・重層的・伴走的な相談支援」に掲げる各推進施策等については、この事業に従い進めてまいります。

重層的支援体制整備事業

地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的支援体制を整備するため、市町村が以下の支援を一体的に実施する事業

1. 相談支援（属性や世代を問わず包括的に相談を受け止める。）
2. 参加支援（社会的孤立を防ぐため社会との繋がりづくりを行う。）
3. 地域づくり支援（住民同士が交流できる多様な場や居場所を整備する。）

(イメージ図)



各支援の概要

1. 相談支援

- ◆既存の高齢・障がい・子ども・生活困窮の相談支援について各支援機関の連携を深める。
- ◆課題が複雑・複合的であるため、各支援機関の役割分担の整理等が必要なものは【新規①】「多機関協働事業」へと繋ぎ、整理調整等を行う。
- ◆長期ひきこもりその他の理由により、必要な支援が届いていないケースについては、【新規②】「アウトリーチ等継続的支援事業」により専門相談員が本人との関係性を構築して伴走的な訪問型支援等を行う。

2. 参加支援

- ◆社会参加に向けた既存の各分野の支援では対応困難なケースについて、【新規③】「参加支援事業」として、地域の社会資源等を活用した社会との繋がりをづくりを行う。

3. 地域づくり支援

- ◆世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な場や居場所を整備する。
- ◆地域で実施されている個別の活動やキーパーソンを把握し、「人と人」「人と居場所」などを繋ぎ合わせる。

上記【新規①～③】の事業については、令和3年4月から一括して半田市社会福祉協議会へ委託し、半田市として取り組んでいく予定です。なお、その他の既存事業についても、さらなる充実を図ってまいります。

令和2年度ふくし課題プロジェクト（試行）について（経過報告）

令和2年度ふくし課題プロジェクト（試行）の進行状況等について、以下のとおり経過を報告します。

1. 案 件 福祉避難所等体制整備のさらなる具体化

2. 期 間 令和2年10月～令和3年3月（6か月以内）

3. メンバー 別紙のとおり

4. 検討経過

これまでに、以下の会議を通じて、災害時における要配慮者支援全体の俯瞰・整理と課題抽出を行い、その上で今年度は福祉避難所開設等事業者の疑問解消等を目的とした半田市福祉避難所開設等実施要領の改訂に取り組むこととなりました。

日 程	会 議	内 容
10月26日	庁内関係課打合せ	方向性等協議
11月12日	第1回【ふP】コア会議	要配慮者支援全体の俯瞰・整理作業①
11月27日	第2回【ふP】コア会議	要配慮者支援全体の俯瞰・整理作業②
12月8日	第3回【ふP】コア会議	課題抽出作業
12月22日	第1回プロジェクト会議	今年度実施事項の協議
1月8日	第4回【ふP】コア会議	実施要領改訂案作成①
1月25日	第5回【ふP】コア会議	実施要領改訂案作成②
2月8日	第2回プロジェクト会議	実施要領改訂案の協議①
・	・	・
・	・	・

※地域福祉計画策定コア会議と区別するため、ふくしプロジェクト・コア会議を「【ふP】コア会議」と表記しています。

5. 今後の予定

定期的に【ふP】コア会議とプロジェクト会議を開催し、今年度中の半田市福祉避難所開設等実施要領の改訂を目指します。また、その他の課題についても、引き続き協議を進めます（協議の枠組みは別途検討）。

【別紙】

令和2年度 ふくし課題プロジェクト（試行） 名簿
 テーマ： 福祉避難所等体制整備のさらなる具体化

No.		所 属	氏 名
1	福祉事業者	社会福祉法人ダブルエッチジェー	立石 佳輝
2		社会福祉法人椎の木福祉会	森川 武彦
3	社協	半田市障がい者相談支援センター	中野 恵
4		〃	徳山 勝
5		半田市包括支援センター	澤田 道
6		〃	加藤 洋介
7	市	福祉部地域福祉課障がい者援護担当	杉浦 郁夫
8		福祉部高齢介護課介護保険担当	藤塚 博志
9		〃	広瀬 美帆
10	(オブザーバー)	総務部防災交通課防災減災担当	中川 貴王
11	事務局	福祉部地域福祉課地域福祉担当	内藤 誠
12		〃	黒野 隼